

令和4年4月第6回松阪市教育委員会定例会会議録

令和4年4月27日（水）教育委員会室

報告事項

- 報告第15号 令和3年度3月児童生徒の問題行動等について
報告第16号 令和3年度松阪市教育支援委員会について
報告第17号 令和3年度育ちサポート係相談事業等の報告について
報告第18号 松阪市通級指導教室設置要綱の一部改正について
報告第19号 令和3年度松阪市子ども支援研究センター相談関係事業実績報告
について
報告第20号 令和3年度松阪市子ども支援研究センター研修講座実施報告について
報告第21号 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会委員の委嘱について

その他事項

1. 令和4年度松阪市子ども支援研究センター相談案内について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	長 井	雅 彦
委員	谷 口	雅 美
委員	服 部	美由紀
委員	松 江	茂

出席事務局職員

事務局長	刀 根	和 宜
事務局次長	村 田	佳 之
教育総務担当参事兼教育総務課長	尼 子	宗 成
学校教育課長	金 谷	勝 弘
学校支援担当参事兼学校支援課長	大 辻	結 花
子ども支援研究センター所長	中 西	明 美
文化課長	松 葉	和 也

午後1時30分 開会

○教育長

それでは、ただいまから令和4年4月第6回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

傍聴の申し出がございましたので、私の方で許可をいたしましたこと、ご報告申し上げます。

それでは、事項書に従いまして、進めてまいります。

本日は、議決事項がございません。

報告第 15 号から第 18 号までにつきまして、事務局から説明願います。

15. 令和 3 年度 3 月児童生徒の問題行動等について

16. 令和 3 年度松阪市教育支援委員会について

17. 令和 3 年度育ちサポート係相談事業等の報告について

18. 松阪市通級指導教室設置要綱の一部改正について

(報告第 15～18 号 学校支援課長から説明)

○教育長

それでは、事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

就学支援委員会の委員構成について、少し説明してください。

◎事務局

教育支援委員会につきましては、医師、特別支援学校の校長・教頭・教諭、小中学校の特別支援学級の教諭、小中学校の校長・教頭・教諭、子ども支援研究センター所員、幼稚園長、保育園長等により構成しておりまして、子どもたちの学びの場である就学先について、どこが子どもたちの状態に一番適しているのかを審議する委員会となっております。

◆委員

就学支援委員会での審議結果と就学先が合致していないケースも一部ありますが、保護者との話し合いと言いますか、意見の一致、合意の上で就学先を決定しているということでしょうか。

◎事務局

育ちサポート係が保護者と学校と何度も面接を実施して相談しておりますので、最終的には保護者も納得していただいた上で就学先を決定しております。

○教育長

他に質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等がないようですので、報告第 15 号から第 18 号までを承認したいと思いますのですが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしと認めます。よって、報告第 15 号から第 18 号までは承認いたしました。

次に、報告第 19 号から第 21 号までにつきまして、事務局から説明願います。

19. 令和 3 年度松阪市子ども支援研究センター相談関係事業実績報告について

20. 令和 3 年度松阪市子ども支援研究センター研修講座実施報告について

(報告第 19～20 号 子ども支援研究センター所長から説明)

21. 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会委員の委嘱について

(報告第 21 号 文化課長から説明)

○教育長

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

◆委員

教育支援センターの通室生について、改善率が小学生に比べて中学生が若干低いのは、思春期だからであるとか、何らかの原因があるのでしょうか。

◎事務局

思春期で多感な時期であるということもありますが、中2・中3になってくるにつれて、自分自身の進路を決めなくてはならないこともあり、だんだん学校復帰する生徒も増えてくるという状況でございます。

◆委員

中2・中3になるほど学校に戻るという気持ちが強くなっていくということですね。

○教育長

通室指導を受けている児童生徒は、前向きな子どもたちが多いですので、小学生では6年生に、中学生では3年生になったら戻っていく率が高くなっています。

他に質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等がないようですので、報告第19号から第21号までを承認したいと思いますですが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしと認めます。よって、報告第19号から第21号までは承認いたしました。

※※※

○教育長

報告事項が終了いたしましたので、「その他」に入ります。

まず、その他事項1につきまして、事務局から説明願います。

1. 令和4年度松阪市子ども支援研究センター相談案内について

(その他事項1 子ども支援研究センター所長から説明)

○教育長

毎年度、子ども支援研究センターの相談窓口について周知をしています。カウンセラーの中には結構有名な先生も在籍していただいております、スケジュールもなかなか取れないような方なのですが、松阪市はずっと長い間お世話になっております。他にもベテランの方々に対応していただいております。

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

この案件は、これにて終了いたします。

委員の皆様から何かございませんか。

◆委員

最近の小中学校におけるコロナ感染状況はどうなっていますか。

◎事務局

今年度4月に入りまして、学校から児童生徒、教職員の報告は194人ございました。児童生徒は179人、うち小学生が75%、中学生が25%となっております。1人だけ入院されましたが、他は自宅療養でした。保護者の濃厚接触者となり検査を受け陽性となっ

た場合や、感染経路が不明な場合や様々なケースがあるような状況でございます。教職員につきましては7人、うち1人は社会的検査で陽性が判明しております。

◆委員

感染経路が分からないということが大きな問題になっていて、学校も最近では1人陽性になったからといってすぐさま学級閉鎖にしないようになりましたし、世間ではインフルエンザ並みに対応してもよいのではないかという意見も多くなっています。

○教育長

1か月で179人というのは爆発的であると思います。各学校における感染対策につきましては、今まで以上に敏感に対応していただいています。子どもたちの学びを止めないとか、学級閉鎖の基準を国が言うように医学的見地に基づき解釈して判断するなど、少しずつ変更してきております。

コロナに感染した子どもがいじめに遭うのではないかと、最も心配しておりましたことですが、そのような報告は学校から一切受けておりません。ある生徒が入試前に感染してしまい涙ながらに友達に謝った、そのときの生徒の心を考えると居ても立っても居られなくなりますが、それを先生方がしっかり受け止め支援したり、クラスのみんなで考えたりすることで、かえってクラスがまとまったとか、いい形で動き出したとか、そのような報告を受けております。

感染することを恐れてはいけないと思います。ただ、感染予防につきましては万全を期して今後も進めてまいりたいと思います。ゴールデンウィークを控え、少し心配ではあります。クラブ活動をずっと制限しておりましたため、クラブ活動に打ち込みたいという子どもたちの想いはすごく強いものがありますので、その辺りもしっかり受け止めながら、対策を取ってまいりたいと考えております。

◆委員

いじめ問題に発展していかないよう、しっかり取組をお願いいたします。

○教育長

ありがとうございます。

他にございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

それでは、最後に事務局から次回の定例会の日程報告をお願いいたします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、

5月27日金曜日、午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますのでよろしくお願いたします。

○教育長

それでは、これをもちまして、令和4年4月第6回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後1時57分 閉会